あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくります 都教組八王子支部
都教組八王子支部ニュース No.8 2026/10/28

八王子支部ニュース

Tel：042(623)1141 Fax：042(627)8741
E-mail：sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com

LINE HP E-mail

11月12日（木曜日）秋の総行動（市役所 18:00～19:00）

市内の組合や市民団体が、一斉に市役所と交渉を行う「八王子総行動」。予定変更で１１月１２日に繰り上げとなりました。

主な重点要求項目

・エアコン未設置個所への設置、修理・メンテナンスを迅速に
・校務用パソコンとそのシステムの改善　・学校事務共同実施を行わないこと
・特別支援教育の条件整備　・少人数学級　・学校図書館の充実、司書の配置増
・女性検診の復活

要求アンケートにご協力ありがとうございました！アンケートの中には「各教室に内線電話、または業務用スマホを」「保健関係の物品を指定業者以外からも職場の判断で購入できるようにしてほしい（肌にやさしい薬品など子どもの実態に合ったもの）」など様々な要求がありました。また、組合員ではない方を含む多数の方から回答をいただきました。「みんなの意見です」と、添え書きいただいたものもあり、お忙しい中にも取りまとめていただいたようです。本当にありがとうございます。個々の学校別の施設に関する要望は、一覧にして市教委に伝えます。この時だけでなく、引き続き様々な機会に要求実現に向けて取り組んでいきます。今後もお気づきのことがあれば、ご連絡ください。

『ゆきとどいた教育署名』知恵と工夫で集めきろう

何年にもわたり続いてきた教育署名です。署名を続けてきた結果、45人学級から40人学級そして35人学級へと前進してきました。小さな一歩ですが集まれば大きな力になります。ある職場では署名に以下の表をつけて回覧し成果を上げています。各職場で様々なアイデアで工夫して集めてください。支部目標500筆です。組合員に個別で送っています。ぜひご協力をお願いします。

1．少人数学級の実施に必要なゆとりある学校数・教室数の確保を
2．教職員の欠員・未配置の速やかな解消を
3．保護者の教育費負担の軽減を　　4．給付制奨学金制度を拡充
5．特別な支援を必要とする子どもたちを支援する体制を整備　・・・など

まわった方はチェックをお願いします。							
先生		先生		先生		先生	
先生		先生		先生		先生	
先生		先生		先生		先生	

最後の方は○○まで　☆お手数ですが[東京都あて]と[国あて]の２カ所にお願いします。

八王子労連大会で学校事務「共同実施」の問題点を訴える！

市教育は今年 7 月、学校事務の共同実施に係るアンケートを市内全小中学校におろしました。アンケートの対象者は校長、副校長、都費事務職員です。学校には、八王子市費の非正規雇用の事務職員と、東京都費の正規の事務職員が 1 名ずついます。今回アンケートのタイトルになった学校事務の共同実施とは、例えば 7 つの学校を 1 グループとし、その中の 1 校を拠点校として拠点校に共同事務室を設置します。共同事務室に一定の人数の都費事務職員が配属され、事務の集中処理をするという方式です。これを事務センター化とも言います。学校が 7 校あっても、共同事務室の都費事務職員は 4 名となり、都費正規職員 3 名削ることができます。各学校の事務室には、週 4 日勤務の都費非正規職員が配属されます。正規職員を削った分の人件費で非正規職員を雇用する計算です。その結果、学校の事務室には正規職員がいなくなります。共同事務室は確かに学校の中にある 1 室を使いますが、学校との接点はあまりなく、共同事務室の中だけで、業務をこなすような日常になり実質的に学校にいないのと同じです。都教委は共同実施により業務の効率化が図られると主張していますが、小中学校では集中処理で効率化が図れる業務はほとんどなく、多種多様な業務を、一つ一つは量的に多くはなくても、きめ細かい対応が現場で迫られる類のものばかりです。例えば消耗品の購入業務で、色画用紙を購入する場合です。色見本を見ると同じ青系の色でも、青、薄青、水色、薄水色、空色、スカイ、ライトブルー、あかるいあさぎなどなど、無限といえるほどの色があり、教員からこの色をどうしても授業で使いたいと言われれば、きちんと理由を聞いたうえで少量でも発注することがあります。それは、その色画用紙を使って嬉々として何かの作品を作る子どもたちの姿を、学校にいる学校事務職員は容易に想像することができるからです。そして作品展に展示された子どもの作品を見たときに、ちゃんとあの色画用紙を使ってくれていると思い、学校で仕事をすることの喜びを感じます。2020 年に新型コロナウィルス感染拡大防止のためとの名目で、学校が一斉休校になりました。教職員も自宅勤務を勧められました。しかし、就学援助の申請など、年度当初に提出しなければならない書類もあります。休校中でも申請書の内容を確認してもらいたいからと来校する保護者もいます。事務室の窓口で対応していると、保護者の家庭での苦労がかいまみえることもあります。学校事務職員は感染リスクを背負いながら、対応に追われるような状況でした。しかし、そうであるからこそ学校事務職員が学校にいることの重要性があらためて浮き彫りになりました。学校事務の共同実施は、学校事務職員が学校で働くことの意義と誇りを奪うものです。都教組八王子支部は市教委要請、市内小中学校事務職員宛てにニュースの配付等、旺盛にとりくみを進めています。学校事務共同実施の導入を阻止するために、引き続き奮闘します。（10 月 25 日　都教組八王子支部の山木代議員）



八王子子ども祭り（11 月 8 日（日）10：30-15：00）

今年も陵南公園で行われます。コマなど昔遊びや竹トンボなど手作りコーナー、ペットボトルロケットなどの体験、ストラックアウトなどのゲーム。和太鼓やダンスなどの出し物も多数。お近くの方、お子さん・お孫さん、ご近所の子どもさんとお出かけください。雨天中止です。本部テントには「主任手当拠出金によりつくられました」の文字。先輩たちの運動が、今も息づいています。